

1 学校教育目標

輝(さん)として輝き、熱誠(ねっせい)こめて社会の力となる人材の育成
～他者とのつながりの中で磨く、総合的な人間力～
総合的な人間力：至誠一貫（誠意・まごころ・夢・理想・志・チャレンジ精神・起業家精神・忍耐力・粘り強さ 等）
自主自立（思考力・判断力・表現力・行動力・責任感・規範意識・自己肯定感・地域肯定感 等）
友愛協働（親しみの情・福祉の心・思いやり・優しさ・協働性・協調性・連帯感・信頼感 等）

2 現状分析（前年度の評価と課題を踏まえて）

当面取り組むべき課題として、次のことが挙げられる。
学習指導：目標を持って授業に取り組ませるための授業改善 恵まれたICT環境を活用した理解力・思考力・表現力等の育成 基礎学力の定着に向けた家庭学習の充実
進路指導：早い段階で進路意識を高め、高い進路目標に向けた計画的な努力を促進
生徒指導：自己肯定感・他者肯定感の育成 生徒が主体的に行動し、自らを律することができる指導の充実
保健体育：生徒の健康や安全に関する意識を高める取組の充実
教育相談：支援を必要とする生徒に適切に対応できる体制づくりと支援の充実
いじめ防止：未然防止、早期発見及び早期解決のための情報共有と組織的な取組の充実
地域・保護者連携：学校による地域貢献活動と地域による学校支援の充実
寮運営：寮生の生活規律の確保と安全管理の充実とともに、魅力ある寮づくり
業務改善：時間外在校等時間を削減するための業務内容・方法の見直し

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題

○重点目標
(1) 深い学びを促し、確かな学力を育成する学校づくり
(2) 他者とのつながりを深め、健やかな心と体を育成する学校づくり
(3) 地域を愛し地域から愛される、存在感のある学校づくり
○生徒チャレンジ目標
Be Active!～積極的に挑戦しよう～

4 自己評価

Table with 7 columns: 評価領域, 重点目標, 具体的方策(教育活動), 評価基準, 達成度, 重点目標の達成状況の診断・分析, 意見・要望等, 評価. Rows include 学習指導, 進路指導, 生徒指導, 保健体育指導, 教育相談, いじめ防止, 地域・保護者連携, 寮運営, 業務改善.

5 学校評価総括（取組の成果と課題）

○今年度は、一般入試での国公立大学への進学を始め、県内企業への就職など、学校だけでなくPTAも巻き込みながら生徒の希望進路の実現を図ることができた。
○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域の青空市場「安下庄海の市」が年間を通して中止となり、コミュニティ・スクールの仕組みを活用した地域と連携・協働した「島・学・人プロジェクト」が十分に実施されたとは言えないが、工夫しながらも可能な取組を行ってきた。
○生徒による周防大島の地方創生に係る政策アイデア「島留学で雇用創出と若者流入！」が、『地方創生☆政策アイデアコンテスト2020』で昨年度に引き続き中国経済産業局長賞を受賞し、本校の取組に対して一定の評価を得ることができた。
○来年度以降、コロナ禍においても、自己管理と感染症対策を徹底した上で、地域の行事やボランティア活動を通じた地域の方々との交流をできることから始め、生徒自身が地域社会に貢献しているという実感を増やす工夫が必要である。
○地域との関わりの中で、生徒が自己肯定感や自己有用感を高め、主体性をもって学校生活を送れるような新たな取組も検討する必要がある。
○業務改善については、本校独自の取組を推進する中で業務が多岐にわたること、寮運営など他校にはない業務があることなどを勘案しながら、業務の効率化と働きやすい職場づくりを推進し、持続可能な学校の指導・運営体制の構築と教職員の仕事・ライフ・バランスの実現に向けて、各分掌部長や年次主任の協力のもと、業務管理や調整、改善点を洗い出し、課題を検証する組織づくりを進めながら、学校における働き方改革をさらに推進していききたい。

6 次年度への改善策

○今年度の反省を踏まえ、本校独自の取組についてしっかりと検証し、教育効果の高いものに力点を置くと同時に、取りやめるものと新たに創出するものを視野に入れながら、引き続き取組の精選を行っていく。
○地元中学生の更なる減少を見据えながら、本校の魅力や本校で活躍する生徒の姿を積極的に発信するとともに、実際に中学生に見える活動をさまざまな形で展開することで生徒募集に繋げ、学校の一層の活性化に努めていく。
○コミュニティ・スクールの仕組みを活用しながら生徒の自己肯定感や自己有用感の醸成だけでなく、地域の教育力や支援を教職員の負担軽減にもつなげるとともに、現行組織のスクラップ&ビルドを図ることで業務改善を進めていく。